

rotork®

Keeping the World Flowing
for Future Generations

防蝕対策



IQ, IQT 及び CK レンジアクチュエータ

IQ, IQT 及び CK 用防蝕対策

IQ & IQT レンジアクチュエータ

ロトルクの標準塗装仕様は、過去50年間に渡ってアクチュエータの様々な用途に応じて、最適な仕様を提供できる様に発展して来ました。

特に厳しい環境状況下では追加の保護が必要となります。

IQレンジアクチュエータの標準塗装色はBS480000-A-05 ライトグレーの80%光沢ですが、ベース、ハンドホイール、ハンド/オートレバー部分はRAL9005ブラックの70%光沢です。IQTではハンドルとハンド/オートレバーは無塗装の黒いプラスチック製となります。

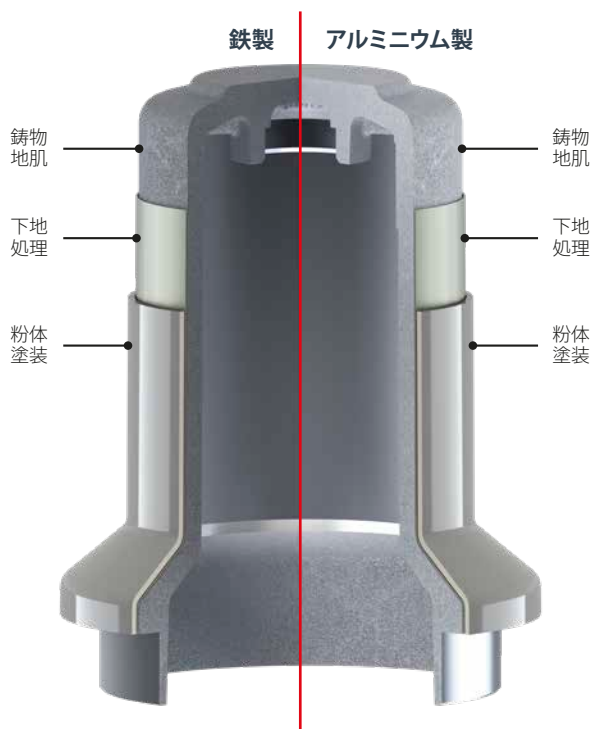
この塗装仕様は、IQ、IQS、IQD、IQM、IQL、IQML、IQT、IQTM、及びIQTFアクチュエータに適用されます。

CK レンジアクチュエータ

IQ用に開発された実績のある塗装仕様がCKにも適用されます。これには厳しい環境状況に対する追加の保護も含まれます。

CKアクチュエータの標準塗装色はRAL5024/パステルブルーの80%光沢です。ハンドホイールとハンド/オートレバーはRAL9005ブラックの70%光沢です。

この塗装仕様は、CK、CKR、CKA、CKRA、CKC、及びCKRC アクチュエータに適用されます。



P1 - 標準塗装仕様

アルミ鋳物部は多段階の洗浄とノンクロメート表面処理により、粉体塗装の為の優れた前処理と強い密着性を実現します。

スチール製のハンドルと切り替えレバーは、完全なリン酸亜鉛合金層を形成するようにメッキされており、長期的な腐食保護を保証します。

鉄製ベースは、冷水ですすぐ前にリン酸亜鉛溶液に漬けられます。

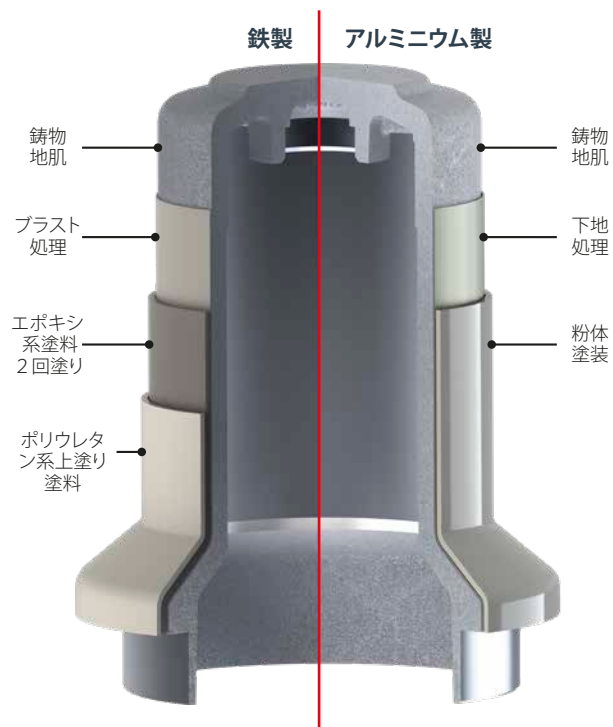
次に、すべての表面が、優れた外装耐久性と色保持特性を備えた建築グレードのポリエステル粉体塗装でコーティングされます。

P1は強度のある塗装が特徴で、欠けや傷などの機械的損傷にも耐性があります。

P1は通常の陸上環境での屋内、又は屋外用途に最適化されています。

総塗装膜厚: 100 µm

IQ, IQT 及び CK 用防蝕対策



P2 – 標準塗装仕様と沿岸部用塗装仕様の組み合わせ

アルミ鋳物に対してはP1と同じ仕様となります。

スチール製のハンドホイール、ハンド/オートレバー、鉄製のベースはPX塗装仕様にて処理致します。

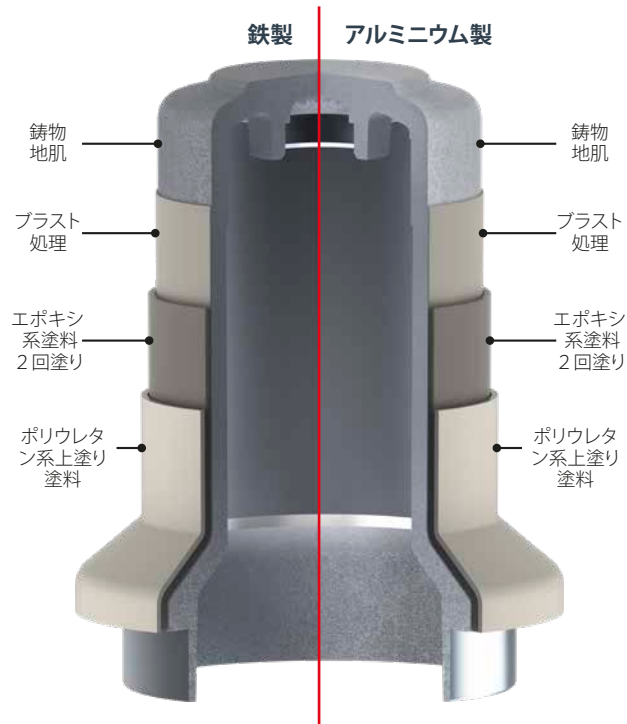
(詳細は下記PXの項目を参照)

P2は、沿岸部および海洋地区向けの腐食保護に費用対効果の高い方法として提供します。

総塗装膜厚:

アルミニウム鋳物部分: 100 μm

スチール製及び鉄鋳物部分: 320 μm



PX – 3回塗り沿岸地域用液体塗装仕様

すべての金属表面は塗装前に研磨プラスト洗浄されます。次に高性能のエポキシ系塗料が2回、続いてポリウレタン系の上塗り塗料が1回塗装されます。

PXは過酷な環境で高い耐久性を備えた高レベルの腐食保護を提供します。PXは沿岸部および海洋地区向けに設計されています。

総塗装膜厚: 320 μm

IQ, IQT 及び CK 用防蝕対策

以下は、各環境で推奨されるロトルクの塗装仕様を示す一覧表です。

腐食性カテゴリ	耐久性		
	低 (2~5年)	中 (5~15年)	高 (15年以上)
C1	P1	P1	P1
C2	P1	P1	P1
C3	P1	P1	P1
C4	P1	P1	P2
C5-M – Marine	P1	P2	P2
C5-I – Industrial	P2	P2	PX

参考までに、ISO12944-2のカテゴリ定義を以下に示します。

腐食性カテゴリ	代表的な環境 - 屋外	代表的な環境 - 屋内
C1	–	清潔な雰囲気のある暖房付きの建物例えばオフィス、ショップ、学校、ホテル。
C2	汚染レベルの低い雰囲気のある場所。主に農村地域。	結露が発生する可能性のある暖房のない建物。例えば格納庫、スポーツ会場。
C3	都市および工業地帯の雰囲気、中程度の二酸化硫黄汚染。塩分濃度の低い沿岸地域。	湿度の高い生産室と少々の大気汚染、例えば食品加工工場、洗濯工場、醸造所、搾乳場。
C4	中程度の塩分濃度の工業地帯と沿岸地域。	化学プラント、水泳場、沿岸船やボートの係留場。
C5-M – Marine	塩分濃度の高い沿岸および沖合地域。	ほぼ恒久的な結露があり、汚染度の高い建物または範囲。
C5-I – Industrial	湿度が高く、攻撃的な環境条件のある地域。	ほぼ恒久的な結露があり、汚染度の高い建物または範囲。

非常に高い耐久性 (25年以上) およびCX腐食性のカテゴリについては、ロトルクにお問い合わせください。

世界各国の弊社販売拠点及びサービスセンターの一覧につきましては、弊社ウェブサイトにてご確認ください。

www.rotork.com

Corporate Headquarters
Rotork plc
tel +44 (0)1225 733200
email mail@rotork.com

ロトルクジャパン株式会社

■本社 〒135-0015
東京都江東区千石2-2-24
電話 03-5632-2941
fax 03-5632-2942
email sales.japan@rotork.com

■大阪営業所 〒590-0946
大阪府堺市堺区熊野町東2-1-19
電話 072-242-8844
fax 072-242-8864
email sales.japan@rotork.com

rotork[®]

電動アクチュエータ及び制御システム
フルードパワーアクチュエータ及び制御システム
ギア機構及び減速機
精密制御及び表示
プロジェクト、サービス、レトロフィット

PUB001-023-09
Issue 03/20

ロトルクでは、継続して製品開発を行っているため、そのプロセスの一環として、事前に通知することなく仕様を修正・変更する権利を留保しています。公開中のデータに関しては、変更される可能性があります。最新のデータにつきましては、弊社ウェブサイト www.rotork.com をご参照下さい。

「Rotork」の社名は登録商標です。ロトルクはあらゆる登録商標を認識しています。英国ロトルクにて出版及び作成を行っています。POLITG0921